

行ってし 知ってかん 感じて
私達のまち いちかわ [1]

広報広聴課旧蔵写真
真間の井 昭和52年



古代の市川には、下総国の国府が置かれていました。今の国府台スポーツセンターのあたりです。その国府には都のあった大和(奈良)から役人が派遣されたり、友人が尋ねて来ました。日本最古の歌集『万葉集』には、身分を問わず天皇やそうした人々の和歌(短歌)などが集められています。『万葉集』は中国から来た漢字の音を用いて日本語を表した万葉仮名で書かれ、「ひらかな」の基となりました。



その『万葉集』の高橋虫麻呂や山部赤人の和歌などに「真間の手児奈」が登場します。当時の真間は国府台とその周辺で、国府で働く人々にとって身近な土地でした。そこに住む女性は大和から来た男性にとって新鮮な美しさの乙女達で、手児奈とは少女の意味を表す愛称(呼び名)だったようです。次第に、手児奈という名前の人々の美女として考えられるようになり、その美しさゆえに多くの男性から求婚されたことを悩んで亡くなったという伝説になったと考えられています。



手児奈をイメージした
市川市の文化・芸術振興
のシンボルマーク

亀井院の井戸は手児奈が使ったと伝えられています。手児奈を弔うために手児奈霊神堂(手児奈霊堂)が建てられ、次第に手児奈は真間を守る女神として信仰されるようになりました。

【もっと手児奈を知ろう】小学生～中学生にお勧めの図書館で借りられる本や映像だよ。

『てこな』市川市文学プラザ企画展図録 2009年2月

『真間の手児奈』西川日恵・竹下宏長 1989年 水書坊(絵本)

『ワイドいちかわ77 手児奈を訪ねて』市川市 1997年(ビデオ)

【真間に行こう】

「文化の街かど・回遊マップ 市川・真間地区編」(右の地図)などの

真間を歩くのに便利な地図を文化振興課(情報プラザ2階)で配っているよ。

右の地図は、いちかわ観光・物産案内所(市川駅北口)、芳澤ガーデンギャラリー、木内ギャラリー、郭沫若記念館などでも配っているよ。



文化の街かど・回遊マップ
市川・真間地区編

HP「市川・真間界隈」のページからも見られるよ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/cul01/1551000030.html>

表紙コラムの注

社会福祉・宣教師。アメリカ・ノースカロライナ出身。コロンビア大学卒業後、姉モード(1889～1980、宣教師)を頼って来日。モードはルーテル教会の社会事業の一環として、自給自足の生活を教えながら慈愛園(熊本県)を運営していた。来日当初のエーネはそれを助け、後に東京・千葉に母子寮・保育園などを開設した。勲四等瑞宝章を受章。

参考 『市川ひと事典』(第4版 エピック 2004年)。潮谷愛一「モード・パウラス」(『社会福祉と聖書』リトン 1998年)。『世界女性人名事典一歴史の中の女性たち一』(日外アソシエーツ 2004年)

市川市映像文化センター(市史編さん事業担当)

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター2階

TEL 047-320-3334 FAX 047-320-3356 <http://www.city.ichikawa.lg.jp/shishihensan>